

令和 3年 11月 26日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：医療法人社団 水澄み会 グループホームもやいの家うのはな

施設種類：認知症対応型共同生活介護

利用者	人	知見を有する者等	人
利用者家族	1人	地域包括支援センター職員	人
地域住民の代表	1人	益田市職員	1人
その他（代表者、管理者、施設職員等）			1人

【報告内容】

1. 現況、活動状況報告

利用者様状況

- ・女性 9名の方ご利用中
- ・介護度 ①・・・2名、②・・・4名、③・・・1名、④・・・1名、⑤・・・1名
- ・平均介護度 2.4
- ・利用者様年齢 70歳代・・・1名  
80歳代・・・4名  
90歳代・・・4名
- ・平均年齢 89.7歳
- ・新規入居者、退居者…無し
- ・感染症予防について

面会については、まだ中止としている。朝・夕の検温、職員の出勤前・出勤時の体温確認・消毒・換気は継続中。職員の同居している家族の体調についても、検温・体調等観察をお願いしている。

フロアのテーブルにパーテーションを設置予定。

活動状況

- ・季節の手作業 …… 柚子味噌作り（家族様からいただいた柚子を使って）  
おやつ作り（スイートポテト）施設で出来たサツマイモで
- ・誕生日お祝い
- ・建物周辺・団地内を散歩、畑の世話、家事作業、ラジオ体操、食前体操
- ・個別でボール体操、ペダルこぎ、パズル、花を生ける、調理
- ・インフルエンザ予防接種が終わる
- ・うのはなだより 10月号発送

- ・火災避難訓練（夜間想定）
- ・勉強会「感染症」「プライバシー」

「高齢者施設等向け新型コロナウイルス感染症対策研修会」web 益田保健所

## 2、身体拘束等の適正化の取り組み

### 第4回 虐待防止・身体拘束廃止委員会

#### 現状報告

- ・身体拘束を行っている事案はなし。
- ・センサーチャイム4名の方に使用中。

#### 2回目虐待自己チェックからの取り組みその後

- ① 「認知症の理解のために、自己学習や研修へ積極的に参加している」  
認知症の方への対応力をつけることで、お客様への安心や不穏を招かないことにつながる。会議にて、改めて対応時の注意点を伝える。
- ② 「身体能力の低下防止に対する支援を積極的に提供している」  
日常の動きの中で機能維持を図ることを心掛けている。
- ③ 「受け持ち入居者の家族に対して近況を積極的に伝えている」  
家族様への伝達の仕組みは作ったが、まだ周知不足の所がある。
- ④ 「治療薬が変更になった場合、その効果を見極めようとしている」  
業務引継ぎ時、声掛けの形で他職員への働きかけが出来るようになり、情報共有されている。

## 3、その他

#### 地域の方より

- ・避難訓練で外階段を使うとのことですが、高齢の方なので大変ですね。  
(ホームより) とにかく、きれいな空気が吸えるところへ逃げることが大事だと考えています。場合によってはベランダに出る方法もあると伝えています。

#### 家族の方より

母が入居して落ち着き、やっと今なら会話できると思っていたが、コロナ感染症のためそれが出来ないのが残念。面会が出来ない状況は分かっているためどうこうは言わないが、落ち着いて会話のできる状態が長く続いてほしいと願っている。

(ホームより)

面会については家族様方のご協力をいただき感謝しています。全国的に感染者の報告が少なくなり、これまで以上の対策を取ったうえで面会が出来ないかと考えるのですが、予防接種ができない方もおられまた感染者が出た事業所の報告を聞くと、厳しい対応となるだろうと予想されるため慎重にならざるを得ません。利用者様にはお元気で過ごしていただけるよう、今後もケアに努めていきます。

#### 行政より

- ・12/14 オンラインによる高齢者施設虐待防止研修会があります。
- ・3回目のコロナ予防接種についての説明会（施設向）が1月に予定されています。

以上